



Cycle Train & Ride on GINNOBASHAMICHI・KOSEKINOMICHI

第6回日本遺産「銀の馬車道 鉾石の道」 サイクルトレイン

2023年9月10日(日)

① サイクルトレインコース

<START> 飾万津臨港公園

<GOAL> 姫路城「城見台公園」

— 参加案内 —



主催

日本遺産「銀の馬車道・鉾石の道」推進協議会
(事務局：兵庫県中播磨県民センター)

このイベントは、日本遺産「銀の馬車道・鉾石の道」推進協議会（事務局：兵庫県中播磨県民センター内）が主催し、運営はNPO法人姫路コンベンションサポートが実施します。

連絡お問合せ

9月10日(日)

当日連絡先

姫路コンベンションサポート 依田(よだ)

TEL 090-2041-9828

.....

9月8日(金)18:00まで

TEL:079-286-8988

姫路コンベンションサポート

担当：依田(よだ) 生尾(なまお)

緊急のお知らせについて

★悪天候が予想される場合は、当日朝6:00の時点で判断し、電話連絡と合わせて、イベントWEBサイトに実施可否を掲載いたします。 <https://hcs.or.jp/bts-charitetsu/>

2023

9/10 (日)

当日INFORMATION

集合場所・アクセス

- 集合場所：飾万津臨港公園
 <住所> 兵庫県姫路市飾磨区須加294



- 受付時間：7時40分～8時10分

- 受付場所：公園内特設会場

<アクセス>

- 【電車の場合】**
- JR・山陽電車「姫路駅」からバスで約20分「姫路港」下車。
 - 山陽電車「飾磨駅」下車「飾磨工業高校前」からバスで約10分「姫路港」下車。

- 【お車の場合】** ● 姫路駐車場は城見台公園北にある姫山駐車場（姫路市本町68番地56）が便利です。

※姫路港までの案内が必要な方は7時30分までに城見台公園にお越しください。サイクルスタッフが先導して受付会場まで向かいます。

イベントスケジュール

時間	スケジュール
7:40～	○会場オープン ○受付開始 グループ分け発表、班別ミーティング
8:15～	○参加者集合 ○出発式
8:30～	出発 グループごとでスタート（3分間隔）
10:30頃～	○サイクルトレイン乗車開始
10:53	香呂駅発 ※軽食・お茶の配布
11:35	生野駅着 グループごとに生野銀山へ、到着後昼食休憩
12:45～	○再出発式
13:00～	再出発 グループごとでリスタート（3分間隔） ふれあいマーケット長谷店、水車公園こっとな亭（神河町）、 甘地駅（市川町）辻川山公園（福崎町） 馬車道修築碑（姫路市）
16:45頃～	○各グループ毎 姫路城 城見台公園ゴール
17:00頃	○最終グループ 姫路城 城見台公園ゴール（予定）

●サイクルトレイン



自転車をそのまま乗せて、JR播但線「香呂駅」から「生野駅」まで貸切運行。（所要、約42分）

●ゴール場所（城見台公園）



（住所）兵庫県姫路市本町68

出発受付・ゴール時Info

- 1 受付でスタッフにお名前を教えてください。（*自転車の検車は各自お済ませください）
- 2 参加者用の専用ゼッケンをお渡ししますので、出発前に見える位置につけてください。
- 3 グループごとに順次出発！安全走行でサイクリングをお楽しみください。
- 4 安全管理上、サイクルトレイン乗車前および下車時、その他各休憩場所ごとに、スタッフより人数を確認させていただきますので、ご協力願います。
- 5 ゴール後、受付でお名前を告げ、**完走証**と**参加賞**をお受け取り下さい。
- 6 ゴール後、駅、駐車場までは、夕暮れの時間帯となりますので、各自お気をつけてお帰りください。

コース概要

★愛車と一緒に列車旅。前輪を外すことなくそのまま列車に乗車、播但路を車窓観光。

朝、姫路港を出発して香呂駅までは、自転車で日本遺産「銀の馬車道・鉾石の道」や世界文化遺産「国宝 姫路城」近くを通りながら、観光ライドをお楽しみいただきます。香呂駅からは

JR播但線「香呂駅」発(10:53)－(専用貸切列車)－「生野駅」着(11:35)

のスケジュールで、貸切列車の旅をお楽しみください。

生野駅下車後、昼食は生野銀山で生野名物「ハヤシライス」のおふるまい。昼食後は市川沿いの風景を楽しみながら、最後は世界文化遺産「国宝 姫路城」でゴールします。

イベントルール・注意事項等

1 持ち物について

- ヘルメット ●輪行袋（転倒や体調不良の場合に、最寄り駅から電車に乗っていただくため必須） ●替えチューブ（パンク時用）
- 自転車のヘッドライト（フロント・バックの両方お持ちでない方はご参加できません）

2 現地集合・解散について

- 集合、解散について送迎は行いません。各自の自己責任でお願いします。
- 駐車場は城見台公園北にある姫山駐車場（姫路市本町68番地56）が便利です。
- 姫路港までの案内が必要な方は7時30分に城見台公園にお越しください。サイクルスタッフが先導して受付会場まで向かいます。

3 グループ分けについて

- 受付時、自転車の種類等を踏まえたチーム分けをお知らせし、みなさまに番号を通知させていただきます。その際、通知した番号の表示がある参加者ゼッケンと安全ピンをお渡ししますので、必ず番号が見えるように装着をお願いします。番号順に1チーム7～8名程度のグループです。

4 受付～列車下車まで

- JR香呂駅北側の香寺温水プールに到着されましたら、自転車をたたまずにお待ちください。スタッフの誘導により道路を横断し、香呂駅に入っていただきます。
- JR香呂駅を利用される一般の乗客の方がいらっしゃいますので、接触などの事故に気をつけて下さい。
- スタッフの指示があるまでホームで待機をお願いします。スタッフが誘導しますので、指示に従ってご乗車ください。なお、当日の列車状況により、自転車を輪行袋に入れていただく場合があります。予めご了承ください。
- 列車内の自転車については、サイクルスタンドとゴムチューブで固定します。不安な方は別の資材をご自身でご持参下さい。
- 列車の中では、沿線の特産品を利用した軽食をお楽しみください。
- 生野駅到着に備えてすみやかに下車できるようご準備をお願いします。
- 下車後サイクルスタッフの指示に従い、すみやかに改札を出て、グループごとに生野銀山へ向かいます。

5 走行について

- 原則として、車道を通行し、左側通行等交通ルールを順守します。
- ロードバイクのグループから先に出発します。
- 自転車は一列隊列となります。1チーム約7～8名で、先頭と最後尾にサイクルスタッフが1名つきます。
- このサイクリングはスピードを競うものではありません。よって、走行中は先頭のサイクルスタッフを抜かすことのないようお願いいたします。

6 休憩箇所について

- 休憩箇所にてサイクルスタッフが人数を確認しますので、グループごとに行動をお願いします。

7 体調不良について

- 途中、体調不良の方、また、なんらかの原因で走行が不可能と判断された場合は、遠慮なくサイクルスタッフへ声をかけてください。万が一途中で棄権する場合でも、必ずサイクルスタッフに声をかけてから隊列を離れてください。※点呼がとれない場合は、警察等へ連絡する場合があります。
- 棄権をされた方で、病院へ行く必要がある場合は、最寄りの救急病院へ搬送します。それ以外は救護車で最寄り駅まで送迎いたします。この際、電車内では持参の輪行袋が必要となります。

8 新型コロナウイルス感染症対策について

- 5月8日に5類に引き下げられたことから健康チェックシート提出・マスク着用等の感染症対策は行いませんが、体調管理として、下記症状にあてはまらないことをご自身で確認し、参加いただくようお願いいたします。

参加時の確認事項

37.5℃ 以上の発熱・倦怠感（だるさ）・体が重い、疲れやすい・味覚や嗅覚の異常・息苦しさ・せき、のどの痛み、鼻水など風邪の症状

9 保険について

- ご加入いただく旅行傷害保険については下記のとおりです。
（保険料は参加費に含まれています。）

国内旅行傷害保険

死亡・後遺障害 1,415万円

入院保険日額 7,800万円

通院保険日額 5,050万円

賠償責任 1,000万円

上記以外の内容については、保険適用対象外となります。

- 自転車保険には各自で加入をお願いします。

10 解散・その他について

- 終点は17時頃(予定)に城見台公園となります。完走証と参加賞をお渡ししたあと、順次解散となります。
- 事前に配布している、参加者アンケート（QRコード）にご協力いただいた方には後日カメラマンが撮影した写真を自由にダウンロードできるサイトURLをお伝えします。

11 連絡先について

問い合わせ等の連絡は下記までお願いします。

〒670-0912 姫路市南町76番地 城陽ビル2階

NPO法人姫路コンベンションサポート 依田(よだ)

TEL 079-286-8988 FAX 079-286-9009

【当日緊急連絡先】

運営・救護スタッフ 依田(よだ) 090-2041-9828

運営スタッフ 玉田(たまだ) 090-9166-1852

●本イベントでは日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」にゆかりのあるスポットを通り、サイクリングを楽しんでいただけます。参加日までには予習をしていただくと、より一層お楽しみいただけますので、ぜひご一読ください。

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」とは

兵庫県の中央部播但（播磨と但馬）地域を南北に貫く一本の道。飾磨港から生野、さらに中瀬に連なる全長73kmのこの道は、明治時代に鉱山の採掘・製錬に必要な機械や日用品などの物資と産出された金・銀・銅の鉱石を輸送するルートとして整備され、多くの人や馬車が盛んに行き交いました。

飾磨港から始まって終着点となる鉱山群へと道をたどると、鉱山と共生した宿場町や町家が次々と現れ、経営拠点が置かれた生野には今も稼働する金属工場から操業の音と製錬の匂いが放たれ「鉱山のまち」の活気を感じることができます。道は生野から北へとつづき、神子畑・明延・中瀬の鉱山にいたります。想像を絶するほどに地中深く掘られた坑道からは、金・銀・銅を求めた鉱夫たちの息遣いが聞こえてくるようです。

播但を貫いて鉱山群へと向かう旅。それは、鉱山まちが放ついぶし銀の景観と生活の今昔に触れながら明治～大正～昭和へと連なる時の足跡を辿る旅路です。日本の近代化を支えた鉱物資源大国の記憶は、この地を旅する人々によって物語となり、現代に甦ります。

【おすすめスポット】

今回のサイクリングでは立ち寄りませんが、生野鉱山・神子畑選鉱場跡・明延鉱山などもおすすめです。もう一度日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」を楽しみにいらしてください。

詳しいストーリーや様々なイベント、観光スポット等については公式ウェブサイトをご覧ください。

【URL】<http://wadachi73.jp/>
※右にあるQRコードからもアクセスいただけます。



明延鉱山探検坑道（養父市大屋町明延）



【みどころ】

近代鉱山の姿を残す貴重な産業遺産として、旧世谷通洞抗の一部を見学でき、車両系鉱山機械や削岩機などが展示しており、稼働当時の坑道を体験できます。

神子畑選鉱場跡

（朝来市佐囊1842-1）



【みどころ】

明治初期に生野鉱山とともに開発され、後に明延鉱山の選鉱場として稼働していました。東洋一の規模を誇り、昼夜問わず稼働を続ける中で、夜中に山肌に浮かぶ姿は「不夜城」と呼ばれていました。現在は山肌に残る巨大な基礎部分とシクナーと呼ばれる施設のみが残っていますが、その迫力はしばしば軍艦島とも比べられます。

アートワーク・神河（神崎郡神河町粟）



【みどころ】

JR長谷駅近くに、地域の魅力を発信するアート作品が完成。スポーツバイクをかけられるスタンドがあり、サイクリングの道すがら、愛車と一緒に播但線の列車や神河の山に咲く花などと記念撮影することもできます。

播但線の時刻に合わせて、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

現存する銀の馬車道 馬車モニュメント

（神崎郡神河町吉富畑川原）



【みどころ】

現存する銀の馬車道と推定され、舗装されていない土道から当時の面影を感じることができます。馬車の御者台に乗って記念撮影できます！すぐ近くには道の駅 銀の馬車道・神河もあります。

銀の馬車道 馬車モニュメント ハヤブ

（神崎郡市川町浅野字堂ノ前479）



【みどころ】

馬車の御者台に乗って記念撮影ができるスポット。手綱を引くとおしゃべりしたり、夜にはライトアップされます。

※「ハヤブ」は銀の馬車道のイメージキャラクターです。

【日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリングの様子が見られます！】

サイクリングの様子、サイクリングの雰囲気が伝わるのではないのでしょうか。是非ご覧ください。

●第1回 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリングの様子（ダイジェスト）

【URL】<https://youtu.be/OcgH4RkIJPk>

●第5回 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリングの様子(かつおちゃんねるさんより)

【URL】https://www.youtube.com/watch?v=QpQ23_Mg210

※左にあるQRコードからもアクセスいただけます。

第1回

かつおちゃんねる

